

# *SPORT FOR TOMORROW*

**スポーツ・フォー・トゥモロー  
～2020年に向けたスポーツ国際貢献～**

## ■ SFTの概要

- 2014年から**2020年までの7年間で**開発途上国をはじめとする**100カ国以上・1000万人以上**を対象に、日本国政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業。
- 世界のよりよい未来をめざし、スポーツの価値を伝え、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントをあらゆる世代の人々に広げていく取組み。
- 外務省、スポーツ庁及び関係諸機関による既存・新規プログラム、**会員団体による認定事業**で構成。

- 「2020」東京招致を契機に…
- ・2013年9月 ブエノスアイレス 招致プレゼンテーション
- 「SPORT FOR TOMORROW」の発足を宣言
- これまで培ってきた活動を、今一度  
**オールジャパンでの取り組みとして拡大、促進**

# SPORT FOR TOMORROWとは

## ■ 活動領域: 3つの柱



### ■ 主な実施団体

- ・外務省 ・JICA ・国際交流基金
- ・スポーツ庁 ・JSC ・会員団体



スポーツを  
通じた  
国際協力  
及び交流



国際スポーツ  
人材育成拠点の  
構築



国際的な  
アンチ・ドーピング推進  
体制の強化支援



### ■ 主な実施団体

- ・スポーツ庁 ・筑波大学
- ・日本体育大学 ・鹿屋体育大学

### ■ 主な実施団体

- ・スポーツ庁
- ・JADA (日本アンチ・ドーピング機構)

## Sport for Tomorrow

### (1) スポーツを通じた国際協力及び交流

- スポーツ関連施設の整備や機材供与(一般/草の根文化無償)、スポーツ指導者の派遣(JICA)、スポーツ分野での日本文化紹介・人材育成支援(国際交流基金、在外公館)
- 学校体育カリキュラム・教材策定支援、スポーツ・イベントの開催支援(スポーツ庁、JSC等)

### (2) 国際スポーツ人材育成拠点の構築

- IOC委員をはじめとする国際的に活躍するスポーツ関係者を外国人教員として日本へ招聘し、また、各国オリンピック委員会等から将来のスポーツ指導者や国際スポーツ界の核となる人材を受け入れ、養成するための中核拠点を形成(スポーツ庁、筑波大学、日本体育大学、鹿屋体育大学)

### (3) 国際的なアンチ・ドーピング体制の強化支援

- 世界アンチ・ドーピング機構(WADA)、UNESCO等の国際機関や各国・地域のアンチ・ドーピング機構、スポーツ関係機関等と連携し、アンチ・ドーピング活動を世界的に普及・促進していくための支援、パートナーシップ構築、調査・研究、及び、スポーツの価値に基づく教育・研修パッケージの開発・導入支援等(スポーツ庁、JADA)

# スポーツを通じた国際協力および交流



スポーツ関連施設の整備



スポーツイベントの開催支援



ボランティアの派遣



学校体育カリキュラム策定支援

# 国際スポーツ人材育成拠点の構築



筑波大学 つくば国際スポーツアカデミー(TIAS)



日本体育大学  
コーチ育成者養成アカデミー



鹿屋体育大学  
国際スポーツアカデミー

# 国際的なアンチ・ドーピング推進体制の強化支援



国際会議・セミナー等の開催



スポーツの価値に基づく教育パッケージ開発・導入実践



スポーツの価値発信・機会創出



アンチ・ドーピング・キャパシティー育成



## ■ スポーツ・フォー・トゥモローコンソーシアム

官民連携し、オールジャパンでSFTを  
推進していくためのネットワーク

● 様々な組織間での連携協力・シナジーを促進

● SFTという共通ビジョンの下、日本のスポーツ国際貢献  
をブランディング

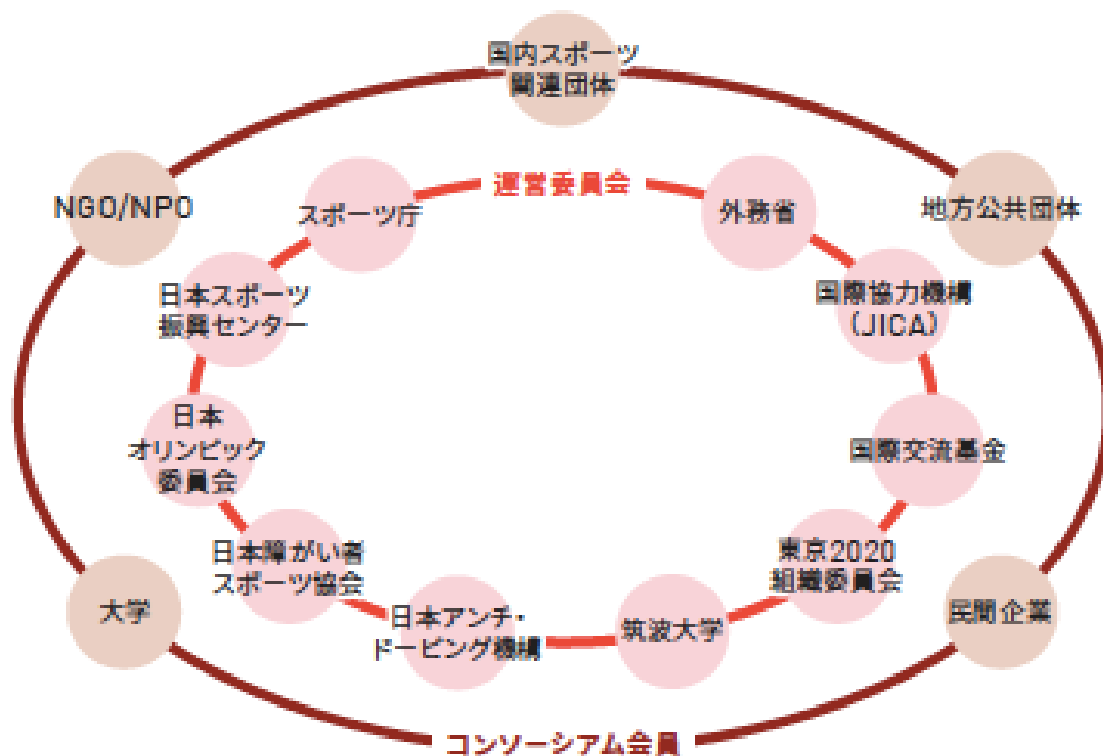
事務局

日本アンチ・ドーピング機構 — 筑波大学

コンソーシアム会員

## ■ スポーツ・フォー・トゥモローコンソーシアム

スポーツ庁・外務省を中心とした「**運営委員会**」と、SFTの趣旨に賛同し、スポーツを通じた国際貢献に携わる民間の諸団体からなる「**コンソーシアム会員**」にて構成



## ■入会申し込み方法:

- ① 所定の入会申込書に必要事項をご記入ください。  
「これまでに実施されたスポーツ国際貢献の実績」「スポーツ国際貢献に関する今後の予定」「SFTCに提供することができる情報」  
に関する情報についてもお書きください。
- ② SFTC事務局までご提出ください。 Email: [sft.info@jpnnsport.jp](mailto:sft.info@jpnnsport.jp)
- ③ 運営委員会で審査・承認させていただきます。(所要日数:2~3週間程度)

## ■入会条件:

SFTCの趣旨に賛同するスポーツ国際貢献に携わる競技団体・NGO・NPO・  
地方公共団体・民間企業・大学等

## ■入会金：無料

※ご不明な点がございましたらSFTC事務局までお気軽にご連絡ください。

## ■ 認定事業

コンソーシアム会員が実施する、民間主導のSFTプログラム



- ・裨益者数の増加
- ・名実ともにオールジャパン化

認定事業

## ■ 認定事業

- **会員団体**が実施するスポーツを通じた国際貢献事業・国際交流事業を、会員団体からの**事前申請に基づき**、運営委員会で、「**SPORT FOR TOMORROW 認定事業**」として認定。
- SFTのロゴやバナーを提供し、**SPORT FOR TOMORROW のムーブメント**を世界に広げていく。
- 2016年1月現在で会員団体による**約80事業**を認定している。

# 会員間の事業マッチング

運営委員会、コンソーシアム会員それぞれが有する、  
スポーツを通じた国際貢献に関する知見を集約し、  
より効果的・効率的な事業を推進できるようなデータベースの構築を進めています。

コンソーシアム会員間の  
事業マッチング

コンソーシアム会員からの  
情報提供・情報照会



いつ

どの国で

どの団体が

何を実施しているか

SFTCデータベース

## (1) モンゴルスペシャルオリンピックス卓球代表チーム支援

- **日本卓球協会**が、モンゴル自閉症協会から支援依頼を受けたことをきっかけとした**SFTC初のマッチング支援**。
- **株式会社アシックス**が、スペシャルオリンピックスモンゴル代表選手に卓球用シューズ、卓球用ユニフォーム、スポーツウェアを提供し、**日本卓球株式会社**が、ウランバートル市内にある4つの特別支援学校に卓球台を提供。
- スペシャルオリンピックスではモンゴル代表選手が卓球で**銀メダルを獲得**。



## (2) 野球によるネパール大地震復興支援

- ・4月25日にネパールで発生したM7.8の大規模地震に対して、1999年からネパールでの野球普及活動を行ってきたNPO法人ネパール野球ラリグラスの会が**復興支援活動**を開始。
- ・**野球の普及活動で築いたネットワーク**をもとに、**現地の状況を把握しながら、物質的・精神的な支援**を行う。
- ・2015年12月には現地で**「ネパール震災復興支援野球大会」**を開催予定。





## (3) アジア太平洋こども会議・イン福岡 スポーツ交流事業

- SPORT FOR TOMORROW **初の地方公共団体実施による認定事業。**
- 福岡県が今回27回目を迎える招聘事業で、「運動会」と「プロサッカー選手によるサッカー教室」という**スポーツ国際交流プログラム**を実施。
- **アジア太平洋33カ国**から集まった**210名**の「こども大使」が言葉や文化を超えてスポーツでの交流を行った。



## (4) 大腿切断者向けランニングクリニック

- **オットーボック・ジャパン株式会社**が主催、**日本パラ陸上競技連盟**が共催し、2015年8月に東京で実施。
- **より多くの大腿切断者の方にスポーツ体験の機会を提供すること**を目的とした事業で、**パラリンピアン**を講師に迎え、**パラリンピック出場を目指すアスリート**を含む12名が参加。
- **SFTC事務局**からも取材案内のニュースリリースを配信し、当日は**13社のメディア**が取材に訪れた。



## NEWS RELEASE

SPORT  
FOR  
TOMORROW

平成27年8月5日  
スポーツ・フォー・トゥモローコンソーシアム事務局  
(独立行政法人日本スポーツ振興センター内)

### スポーツを通じた国際貢献事業「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラム

2012 ロンドン金メダリスト(ハインリッヒ ポポフ選手)、2008 北京銀メダリスト(山本篤選手)を講師として参加し、オットーボック・ジャパン、大腿切断者向けランニングクリニック

【取材のご案内】8月21日(金)~23日(日)日本大

#### 報道関係各位

「スポーツ・フォー・トゥモロー(SFT)※1コンソーシアム」では、オットーボック・ジャパン(金)~23日(日)に開催する「大腿切断者向けランニングクリニック」を、「スポーツ」として承認しました(※2)

クリニック当日は、パラリンピックメダリストを指導者に迎え、ランニング初心者からあるアスリートまで、様々な活動レベルの大腿切断者12名が参加します。

ご多用中とは存じますが、ご取材の検討を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

認定事業については、SFTC事務局よりニュースリリースの配信やSFTWebサイトでの事業紹介も行ってまいります

SPORT  
FOR  
TOMORROW

SFTとは ニュース 活動レポート コンソーシアム会員一覧 入会方法・お問い合わせ

### ランニングクリニック ～ロンドンパラリンピック金メダリストと一緒に走ろう！



日本ではじめて開催された大腿切断者向けのランニングクリニック。2人のパラリンピックメダリスト、ハインリッヒ・ポポフ選手、山本篤選手を講師に迎え、10

実施期間  
2015年8月21～23日

# スポーツ・フォー・トゥモロー認定事業申請方法

- ① コンソーシアムに入会
- ② 各団体に事業計画を  
事業認定申請書に記入
- ③ SFTC事務局へ提出  
sft.info@jpnssport.jp
- ④ 運営委員会で審議・承認

企画段階で、まずはSFTC事務局  
までご一報ください。

承認された事業については、SFTC  
認定プログラムとして広報いた  
だけます。

B

## SFT 事業計画書/事業認定申請書

案件名	
-----	--

基本情報

実施団体	
支援・協力団体	
対象国/プロジェクトサイト	
案件名 (英)	
実施期間/時期	
相手国組織名 (和)	
相手国組織名 (英)	

案件概要情報

事業/プロジェクト概要	
背景	
事業/プロジェクト 目標	
成果	
主な活動/スケジュール	

## お問合せ先

スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局

Email: [sft.info@jpnnsport.go.jp](mailto:sft.info@jpnnsport.go.jp)

住所: 東京都渋谷区神宮前3-7-5 MSビルディング7階

電話: 03-6804-2776

ホームページ: <http://www.sport4tomorrow.jp/jp/>